

現状と課題

※【 】内は参考にしたデータ等

○感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し表現したり鑑賞したりするなどの資質・能力を相互に関連させながら育成することや、主体的で創造的な学習活動の充実が求められている。

- ・表したいことを見つけて絵に表すこと、我が国や諸外国の作品、暮らしの中の作品の表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえることに課題がある。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査(国立教育政策研究所)】
- ・表現と鑑賞に共通して働く資質・能力であるとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てるための視点である〔共通事項〕については、一部課題がある。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・育成する資質・能力と学習内容との関係の明確化についての各都道府県等の実施状況に関する質問事項において、育むべき資質・能力を意識した授業が見られるようになったなどの成果としての回答が約4割程度にとどまっている反面、約7割が美術の基礎的な能力が相互に関連して高まるような指導に至っていない等の課題を回答している。【教育課程の編成・実施に関する聴取資料(中学校)】
- ・表現及び鑑賞の活動自体が目的化するなど、育成する資質・能力と学習内容との関係が曖昧な指導の現状が見受けられる。【高等学校教育課程研究指定校の取組等より】

○生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深め、生活や社会と豊かに関わる態度を育成することが求められている。

- ・親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品の表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえることについては、相当数の児童ができているが、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品については課題がある。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・「図画工作の学習が好きだ」という質問に80.3%の児童が肯定的に回答したのに対し、「図画工作を学習すれば、普段の生活や社会に出て役立つ」という質問に肯定的に回答した児童は、60.0%だった。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・美術文化の理解を深める学習についての各都道府県等の実施状況に関する質問事項において、約5割が美術文化の継承と創造への関心が高まるような学習に至っていない等の課題を回答している。【教育課程の編成・実施に関する聴取資料(中学校)】
- ・美術文化についての理解を深める学習が、単に知識などを学ぶだけにとどまるなど、その価値を尊重し継承しようとする心情や態度の育成に至っていない現状が見受けられる。【高等学校教育課程研究指定校の取組等より】

豊かな情操の育成を目指した小・中・高等学校修了時の児童生徒の姿 ～図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）で育成すべき資質・能力～（検討のたたき台）

高等学校

【芸術科(美術Ⅲ)】

【芸術科(美術Ⅱ)】

【芸術科(美術Ⅰ)】※

○豊かな感性や生涯にわたり美術を愛好する心情が育っている。
○創造的な表現と鑑賞の能力を働かせて、豊かに表現したり、鑑賞したりすることができる。
例えば・・・
・造形要素の働きなどを考え、自己の思いや考えを創造的に表現したり、美術作品などのよさや美しさなどを感じ取り、理解を深めたりすることができる。
・形や色彩などの造形的な視点を明確にし、対象を分析的に捉えたり、根拠をもって批評したりするなどして美術作品などに対する理解を深めることができる。
・形や色彩などのコミュニケーションを通して、創造的な新たな価値をつくりだすことができる。など
○生活や社会の中の美術の働きや、美術文化について、深く理解し、美術文化を尊重している。
例えば・・・
・生活や社会を明るく心豊かにする美術の働きについて考え、理解することができる。
・伝統的かつ創造的な日本の美術文化について理解することができる。
・日本及び諸外国の美術文化についての理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めることができる。 など

【芸術科(工芸Ⅲ)】

【芸術科(工芸Ⅱ)】

【芸術科(工芸Ⅰ)】※

○豊かな感性や生涯にわたり工芸を愛好する心情が育っている。
○創造的な表現と鑑賞の能力を働かせて、豊かに表現したり、鑑賞したりすることができる。
例えば・・・
・造形要素の働きなどを考え、自己の思いや使う人の願いなどを考えて心豊かに表現したり、工芸作品などのよさや美しさなどを感じ取り、理解を深めたりすることができる。
・形や色彩などの造形的な視点を明確にし、対象を分析的に捉えたり、根拠をもって批評したりするなどして工芸作品などに対する理解を深めることができる。
・形や色彩などのコミュニケーションを通して、創造的な新たな価値をつくりだすことができる。など
○生活や社会の中の工芸の働きや、工芸の伝統と文化について、深く理解し、工芸の伝統と文化を尊重している。
例えば・・・
・生活や社会を明るく心豊かにする工芸の働きについて理解することができる。
・伝統的かつ創造的な日本の工芸の伝統と文化について理解することができる。
・日本の工芸の伝統と文化についての理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めることができる。 など

※[]内は、本WGの議論に関係する教科

※ I を付した科目のうち、1科目を共通必修教科目とする。

中学校

【美術科】

○豊かな感性や美術を愛好する心情が育っている。
○美術の基礎的な能力を相互に働かせて、豊かに表現したり鑑賞したりすることができる。
例えば・・・
・形や色彩などのもつ性質や感情などを考え、表現したいことを基に表現したり、作品などのよさや美しさなどを感じ取り味わうことができる。
・対象を形や色彩などの視点をもって分析的に捉えたり、自分の価値意識をもって批評したりして作品などの見方や感じ方を深めることができる。
・形や色彩などによるコミュニケーションを通して、自分の中に新しい意味や価値をつくりだすことができる。 など
○生活の中の美術の働きや、美術文化について、理解し、美術文化の継承と創造への関心を高めている。
例えば・・・
・生活の中の美術の果たす役割や働きについて理解することができる。
・我が国の美術文化について理解するとともに、諸外国の美術文化との相違と共通性に気付き、美術を通して国際理解を深めることができる。 など

【技術・家庭科(技術分野)】

・材料、加工に関する技術についての基礎的・基本的な知識と技能の習得

小学校

【図画工作科】

○感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わっている。
○造形的な創造活動の基礎的な能力を相互に働かせて、表現したり鑑賞したりすることができる。
例えば・・・
・形や色などの特徴を捉えながら、造形的な活動を思い付き表現したり、表現したいことを絵や立体、工作に表現したりすることができる。
・自分たちの作品や美術作品などから、表現の意図や特徴などを捉え、よさや美しさを感じ取ることができる。
・形や色などによるコミュニケーションを通して、新しい意味や価値をつくりだすことができる。 など
○生活の中の造形や、我が国や諸外国の美術作品に親しみ、それらを大切にしている。
例えば・・・
・生活の中の造形などに関心をもっている。
・我が国や諸外国の美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取り、それらを大切にしている。 など

幼児教育

(教育課程部会幼児教育部会において、芸術ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議)
・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにもちながら、楽しく表現する。
・生活や遊びを通して感じたことや考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったり、演じて遊んだりする。
・友達同士で互いに表現し合うことで、様々な表現の面白さに気付いたり、友達と一緒に表現する過程を楽しんだりする。